

①学年より

あっという間に1学期が終わりを迎えました。入学当初は、まだ小学生らしい顔つきが残っていましたが、授業、定期考査、部活動等を通し、もう立派な浅中生としての顔つきに変わりました。初めてづくしの1学期でしたが、様々な経験を通し、着実に成長を重ねています。

この夏休みには、学習や部活動等、自己の成長の期間にするだけでなく、休息の時間としてほしいと思います。また、2学期に元気で会える日を楽しみにしています。

②学年より

忙しい1学期が終わりました。職場体験の準備を進めながら、霧ヶ峰移動教室があり、合唱コンクールの練習がありました。その中で2学年は良く対応をしました。結果移動教室では班や部屋で協力しながら様々な活動に取り組むことができ、クラスや学年の中も深まりました。合唱コンクールではリハーサルを聴く限り正直不安しかありませんでしたが、朝練を実施する中で調整し、見事な歌声を響かせてくれました。3月の本番が楽しみです。

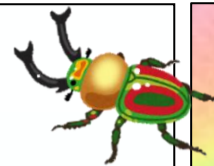
③学年より

早いものでいよいよ中学校生活最後の夏休みを迎えることとなります。受験生として約40日間の夏休みをどう過ごすのか。まずは受験に向けて具体的なプランを立てることが大切です。これまで習った範囲をきちんと理解できるよう、それぞれの目標に向けて努力していきましょう。また、夏休みの時期から多くの学校で説明会や体験会が開催されます。いつどのよな形で開催されるのか、ホームページを細目に確認しておきましょう。有意義な夏休みを過ごしてください。

A組より

2年生の霧ヶ峰移動教室に交流学級で参加してきました。1年生の時は校外学習時にも一緒に活動している学年なので、双方の生徒たちが安心して活動できてきていると感じています。A組が開級してまだ2年ですが、少しずつ「共に学び、共に高め合う」時間が増えてきています。この新しい伝統を大切にしていきたいです。また、新入生の体験も始まっています。この優しいアットホームな雰囲気を感じて、新入生が入ってきてくれることを楽しみにしています。

地球環境を考える夏休みに



新しい出会いや環境の中で、令和5年度も4ヶ月が経ちました。自己実現に向けて一生懸命に取り組む生徒の姿を見ることができていることを嬉しく思います。

いよいよ長い夏休みがやってきます。近年の夏、台風や大雨による風水害に見舞われた地域では、たいへんな苦勞をして生活されている方が多くいらっしゃいます。今年度もすでに線状降水帯による大雨で被害が出ていることが報道されています。電気、水道が自由に使えない、家屋の崩壊もありました。このような異常気象の背景には、地球温暖化が関わっているとみられています。

アメリカ先住民の有名な言葉で、「地球は先祖から譲り受けたものではなく、地球は子孫(未来の子供たち)からの借り物」と言い伝えられています。借りているものは、最低限でも今の状態で未来の子供たちに渡したい、可能ならば今より良くして渡したいと思っています。ところが、そのことが難しくなっているところから近年起きているさまざまな災害から感じています。

これからの未来社会を担う生徒には、自分の夢を叶えるために夏休みの時間を有効に活用するとともに、社会問題である地球環境についても考えてほしいと思います。ご家庭でも夏の過ごし方について話題にしてみてください。そして、与えられた時間を大切に有意義な夏休みを過ごしてください。



校長室より
渡邊 渉

飛翔

第182号

令和5年7月20日(木)

発行

台東区立浅草中学校

〒111-0051

台東区蔵前1-3-4

TEL 03(3866)5169

HP

<https://taito.ed.jp/sw/as/index.php?id=1320>

115

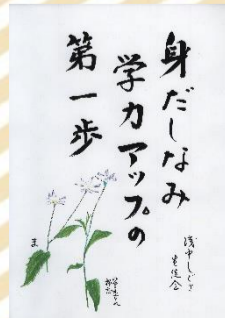


2年生霧ヶ峰移動教室

7月5日(水)から7月8日(土)の3泊4日、長野県諏訪市で霧ヶ峰移動教室を行いました。初日は小雨の中で活動しましたが、2日目以降は天候に恵まれ、豊かな自然環境を楽しみながら、ハイキングやレクリエーション、野外炊飯、キャンプファイヤー等、思い切り活動することができました。



9月の浅中しぐさ



仁義礼智信

先日小さな子供たちが、地面に引かれた30センチほどの幅の道を踏み外さないように歩く…こんな遊びをしていました。

その幅の道を歩くのはたやすい。しかし、もしそれが断崖絶壁にかかる丸太であれば、恐怖で足がすくみ、一歩も進まなくなってしまう。

ある工学博士は、この状態を「自己限定」の思い込みに支配されている現象と分析する。たとえ力が備わっていても「不可能だ」と感じた途端、その能力は萎縮してしまう。それは肉体のみならず、精神的な力も同様だという。

翻って、3年生にとっては、部活動最後の夏の大会やコンクール、そして受験に向けた大切な夏休み。自分一人では「不可能だ」「もう限界だ」と思うことも仲間の励ましがあれば、人は強くなれる。よき友と助け合い、励まし合いながら、天王山を乗り切りたい。